

令和5年住宅・土地統計調査でみる鳥取県

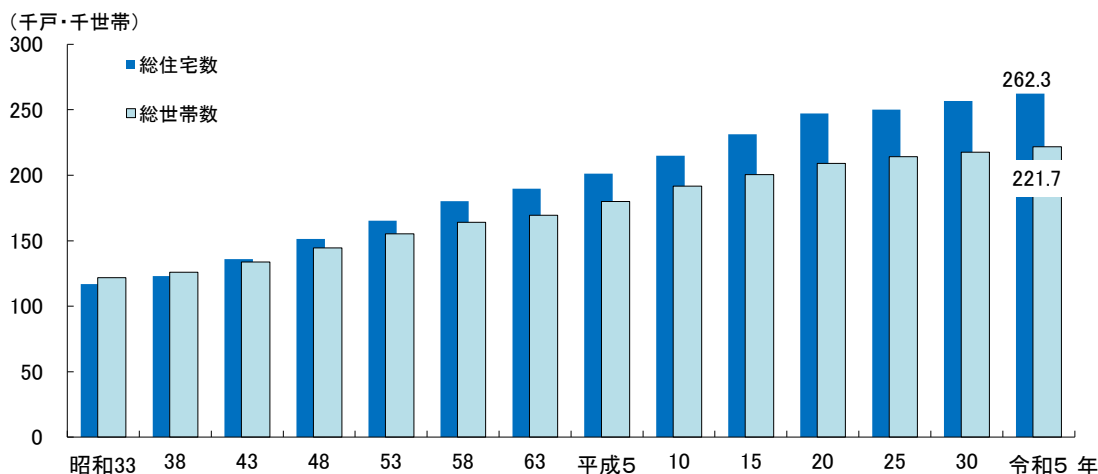
～住宅・世帯の概況に関する結果から～

総住宅数と総世帯数（昭和33～令和5年）

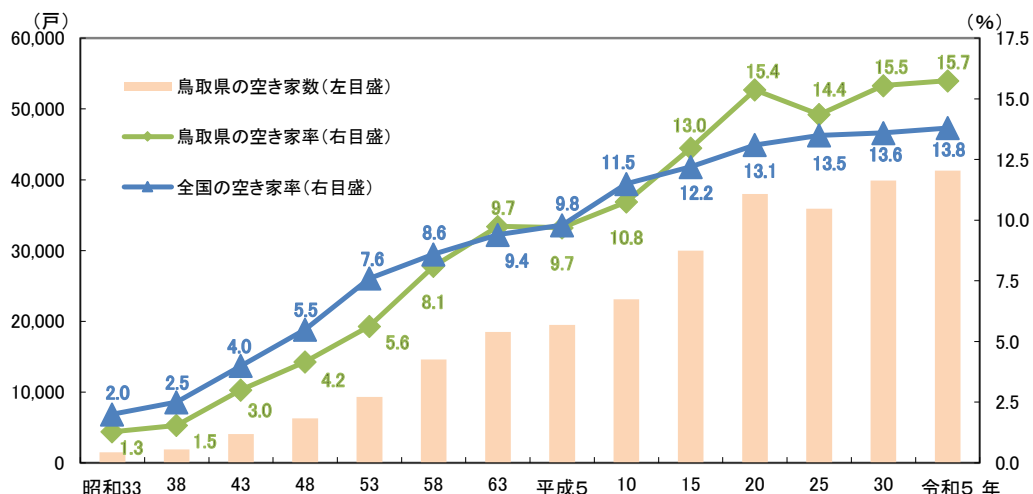
昭和43年以降は総住宅数が総世帯数を上回っています。また、総住宅数及び総世帯数は一貫して増加しています。



トリピー



空き家数と空き家率の推移（昭和33～令和5年）



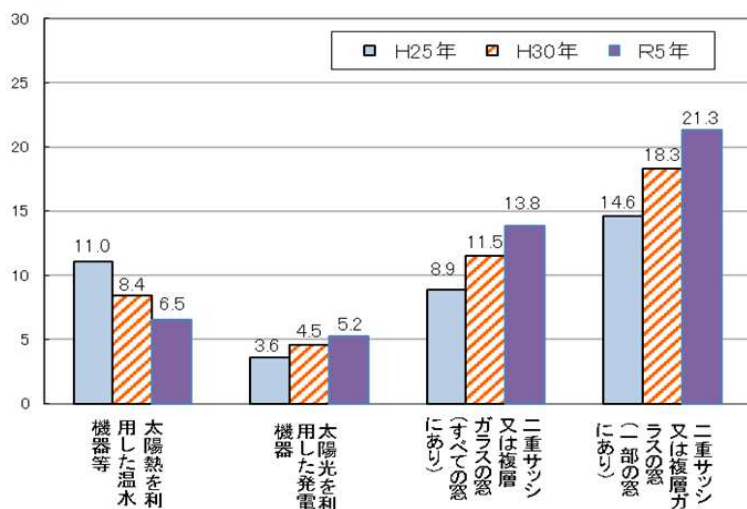
空き家数は、増加傾向となっています。空き家率も上昇傾向で、平成15年以降、鳥取県の空き家率は全国を上回っています。



みらいちゃん

省エネルギー設備等を備えた住宅の割合の推移（平成25年～令和5年）

省エネルギー設備等を備えた住宅の割合の推移 (H25年～R5年)



二重サッシ又は複層ガラスの窓の割合が平成25年から比べるとずいぶん増えています。太陽光を利用した設備より断熱効果があるサッシやガラスが好まれるのは、雨が多い鳥取の気候が影響しているのかもしれませんね。



セブちゃん

※住宅・土地統計調査は、我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査で、5年ごとに行われています。令和5年調査は、全国で抽出された約340万世帯、鳥取県では約1万5千世帯について、令和5年10月1日現在で実施されました。